

山麓もよう

交流の家周辺の体験情報をご紹介します！

【赤城ふれあいの森 木の家】<http://www.gunmori.or.jp/park/>

鍋割山のふもとの赤城ふれあいの森の一角に、木の家があります。林業のこと、木のこと、森のことなどが学べる展示ブースがあるほか、工作室での工作ができます。設計図



から板を切り出し、釘を使って組み立てる木工体験と自然の素材を使ったネイチャークラフトができます。登山の帰りに立ち寄ってみてはいかがでしょうか？公園内には、キャンプ場もあります。

- 所要時間：交流の家から車で20分
- TEL:027-287-8806
- 前橋市富士見町赤城山1-2
- 主な体験内容：ネイチャークラフト、木工体験 300～450円程度。キャンプ場あり。

リレーcolumn すたっぷの目

今回は、3年目のベテランスタッフの「目」です。

文：石川 一彦
【かあず】

赴任した当時、周辺は荒れ果てた松林でした。3年間に徐々に植樹が進み、今やたくさんの苗木が生き生きと育つ森の赤ちゃんによみがえっています。自然を荒廃させるのも人間。自然を育むのも人間。多くの皆さんが協力することで、自然を守る大きな力になることを赤城で実感しました。

文：小野里 慶博【おのりん】

『目から鱗』でした。PAJ（プロジェクトアドベンチャー ジャパン）のAP講習会に参加したとき、こんな体験学習があるんだと……。デスクワークが多い中、AAPのファンリレートはちょっとした楽しみです。参加者のやる気や笑顔が見られるのは最高です。

文：西田 真吾【にしやん】

3年前の4月、初めて担当した夕べのつどいで「私の好きな言葉は『初心忘るべからず』です。」と話したことを思い出します。あの日のあの気持ちと赤城での貴重な経験をずっと大切に、これからもがんばってまいります。



時には「博士」の一面をのぞかせる、かあず。



キャンプネームが妙にフィットする、おのりん。



にしやん、2011年3月9日、鍋割山頂にて撮影。

「所長のつぶやき」
「トビックス」更新中

今月の つぶやき田

- ドリカムの『時間旅行』にある“2012年の金環蝕”が5月21日に。「太陽のリング」を観察したい気持ちは山々なれど、毎日指を眺めている女房が…。(オノさん)
- 天気も良く穏やかな日と思いきや、意外に寒さを感じるが、空気が澄んでおり、すがすがしい。やっぱり赤城はいい。(佐藤)
- 梅が楚々として咲き匂い、早春の草花も顔を出して、厳しい今年の冬から、いのち華やぐ春と子どもたちの歓声はすぐそこに！(島崎)
- ふきのとうを見つけました。もう直ぐはるかな～？春よ来い♪早く来い♪(神山)
- フライフィッシングの毛ぼりを巻きました。もうすぐシーズン。今年は何回か行くぞい釣り場、あればご紹介ください。(桜井)
- 日増しに日差しが強くなってきました。本格的な春がやってきます。鳥のさえずりや鹿の鳴き声をききに赤城にやってきませんか。(坂田)
- ウリ坊を2匹見ました。幼かった君と僕のように戯れながら通り過ぎていきました。いつまでも仲良く、そう僕達のようにね。(新井)
- 一雨ごとに木蓮のつぼみが膨らんでいきます。別名「移動花」。赤城にもまた、別れと出会いの季節がやってきます。(石川)
- 暖かくなってきました。今年も杉花粉などが飛散する事が予想されます。アレルギー症状のある方、予防が必要ですね。野外活動時には特に注意！！(鈴木)
- この2年間は、宝の時間。たくさんの出会いがあり、職場の仲間達にも恵まれ感謝の気持ちでいっぱいです。元気になります！必ず…(武笠)
- 4月14日はあかぎ南ろく桜フェスタ。準備も着々。自分好みになっていくのが怖いなあ。交流の家の桜は穴場ですよ(山崎)
- どこが優勝か？今年のプロ野球は話題、見所豊富で楽しみです。(小野里慶)
- 一年で一番好きな季節『春』がやってきます。冬の寒さでうずくまっていた身体を伸ばし、桜の開花を楽しみに待っています。(阿佐美)
- 3月です。花粉の時期で、目や鼻はヒサン(飛散)です。(一-)。でも、この時期は天気も安定していて気持ちいいので“がんばっぺ”("O") (廣澤)
- 子どもの頃から何気なく見ていた「赤城山」。この3年間でグッと身近で大切な存在となりました。(西田)
- 私は会計やってますけど、ふだん家の電気代とか一切気にしない、下手すると自分の給与明細すら見ないような人間です。23年度決算も無事に終わると良いですね。(秋山)
- 人事異動の季節。体調の悪さを見せず、ひたむきに頑張る業務に勤しまれた姿が印象的でした。僭越ながら応援しています。(星野)
- 夕方外にでると、凍てつく闇のなか、目の前に蛍の光が1つ浮かんでいます。寒いからなあ煙草やめるべきかなあ(中屋)
- 書いたものも作ったものも、形になった瞬間！過去のものになってゆく。最近つくづく思う。だから形にこだわるのは大切だけど、一番大切にすることではないのだろう。(柴崎)
- 赤城山はまだまだ寒いですが。だいたい前橋市中心街より5℃程度低いぐらいです。(田村)
- 「何でも食べられる！いっぱい食べられる！」の私が、最近胃を壊しました。胃も心も別人になったみたい…。健康って最高～(泣) (川崎)
- 花粉の季節、花荒れ注意！→自分 (大澤)

※今回のつぶやき掲載順は、禁断のアノ領域に足を踏み入れてしまいました。権力順？ですかね～

次号は、
4月20日発行予定！

《Web版カラゴロリもどうぞ！》

配信登録は、右のQRコードを読み取りとり、メール作成画面に進み、空メールを送信してください。



風のおと

宝探し準備中

例えば、この寒い冬に、施設の中で、宝探し大会をしてみるなんていかがですか？ただ宝探し大会をするのではなくて、友達同士が協力をしないと、宝を発見することができないような仕組みになっているのです。そんな宝探しを、今考えています。もちろん暖かい季節でも、雨が降って、活動ができないとき、などにも使っていただけます。

でも、まだできていないわけではないのです。しかし、こうやって、ここで書いてしまうことで、作らないわけにはいかな

風と太陽のくにからの通信誌

カラゴロリ



We never meet without a parting.

「別れがあるからこそ出会いがある」

桜の咲く頃と言えば、別れの季節でもあり、出会いの季節でもあります。別れの悲しみがあれば、出会いの喜びもあります。桜が、はかない一方で華やかに見えることもあるのは、そんな季節を象徴していると言えるでしょうか。

(絵と文：金井麻耶)

なるので書いてしまいました。ここ赤城青少年交流の家は、施設もとても広いです。その広い施設の中にちりばめられた暗号を解きながら、目的の場所に行き、途中で発見した鍵で、宝の箱を開けると…。そこには…どんな宝が隠されているのでしょうか？

もちろん大人数でもご利用いただけます。皆さん、ふるって、ご活用ください。4月からご利用いただけるように準備しています。

所長 桜井義維英

国立赤城青少年交流の家 <http://akagi.niye.go.jp>

TEL:027-289-7224 (9:00~18:00)

FAX:027-289-7226

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

E-mail: akagi@niye.go.jp

赤城 カラゴロリ

検索



森の再生を願って… 今年度は590名の方による植樹



NPO 法人弱酸性美容協会のみなさんによる植林の様子＝10月18日、交流の家に隣接する森にて

この事業は、前橋市と、環境保全を目的に活動する民間団体の「NPO 法人自然文化創造工場」(CCC) と交流の家が連携協力をし、進めています。松枯れにより荒廃した施設周辺の林野を、水源涵養機能の高い森林にするための植林や、下草刈り、枯松材を利用した炭焼体験、土壌改良のための炭の散布等の森林再生活動プログラム体験を通し、環境意識を高めることを目的として実施しました。



以前うっそうとしたもりだった場所が、今は、松枯れにより消滅してしまっています。

- 今年度、賛同してくれた学校・団体は以下の方々です。みなさんとともに、下草刈り、植林、炭の散布を実施いたしました。
- 本田技研工業株式会社 (2回)
 - 前橋国際大学 (2回)
 - 前橋工業高校
 - NPO 法人弱酸性美容協会
 - 三国コカ・コーラボトリング株式会社



- ◆参加者の声◆
- ・自分が植えた樹木が早く大きくなってほしい。
 - ・2回目の参加だったが、下草刈り等、事前準備をしてくれたおかげで、昨年度よりもたくさんの苗木を植えることができ、あかぎの森の再生に貢献できよかった。
- ◆成果◆
- 参加された方は、赤城山の松枯れ被害を實際の目で確かめることで、環境問題を考えるきっかけができ、環境教育のますますの広がりにつなげることができたようです。
- ※事業に参加してくれた方は総勢約590名、コナラ・クヌギ・ケヤキ・モミジ類・カエデ類など約2,500本の苗木を植林することができました。ご協力、お力添え、ありがとうございました。(文：廣澤)

これからの動き

■4/14
【あかぎ南ろくさくらフェスタ】
※10:00～15:00
前橋市富士見中による吹奏楽の演奏、前橋市立原小による合唱、和太鼓演奏、体験ブース、その他出店。
対象：どなたでも ※申込み不要
交通：駐車場に限りがありますので、循環バスをご利用ください。詳細は、交流の家ホームページ (<http://akagi.go.jp>) をご覧下さい。

■5/19(土)～20(日)
【ボランティア養成会】
※1泊2日
ボランティアの養成を通し、ボランティアに対する知識の学習、人間関係づくりの技術の習得などをメインに行います。社会に積極的に関わる人材の育成を目指します。
※詳細はお問合せください→TEL:027-289-7224

■6/22(金)～25(月)
【マイクロネシア諸島自然体験交流事業】
※3泊4日
太平洋諸島の子どもたちを日本に招へいし、自然・異文化・交流などの体験を行います。

■8/1(水)～3(金)
【教員免許状更新講習】
※2泊3日
自然環境や人間関係を構築するためのプログラム体験を通して、免許状更新とともに、体験活動の生かし方をお伝えします。
申込み:3/23,16:00～申込み開始。
FAX (027-289-7226) またはメール (akagi23kikaku@niye.go.jp) にて。

プログラム紹介!



野外活動のメインは何といっても登山でしょう。山頂に到達したときの達成感や爽快感は登った人にしかわかりません。ぜひ、小さいうちからその喜びを味あわせてあげたいものです。赤城山(あかぎさん、ではなく、あかぎやま)は複数の山の総称です。登山コースは、

- ・鍋割高原コース(小学校低学年～、所要3～4時間)
- ・鍋割山コース(小学校高学年～、5～6時間)
- ・鍋割山縦走コース(中学生～、7～8時間)
- ・地藏岳コース(小学校中学年～、5～6時間)
- ・黒檜山コース(小学校高学年～、7～8時間)

の5つのコースに分かれています。地藏岳コースと黒檜山コースは、バス等の移動手段が必要です。各ピークでは大沼や小沼・覚満淵、関東山地、秩父連山など壮大なスケールのロケーションが楽しめます。ぜひ、あかぎ登山を一度体験してみてください。(文：坂田)



赤城青少年交流の家で活躍する、非常勤講師やボランティアの方をご紹介します

この人に会いたい

●あかぎアドベンチャープログラム(略称:AAP)講師
さとう じゅんこ
佐藤 順子さん
【さとじゅん】
(児童養護施設・児童指導員/元法務教官)

「子ども達が、様々なことに自ら気づき成長していく過程をサポートしたい!」「自分自身を上手に表現できない子ども達にもチャンス!」という思いが、ファシリテーションを通して伝わってきます。今回は、こんな魅力満載の佐藤順子さん、通称「さとじゅん」にインタビューしました。

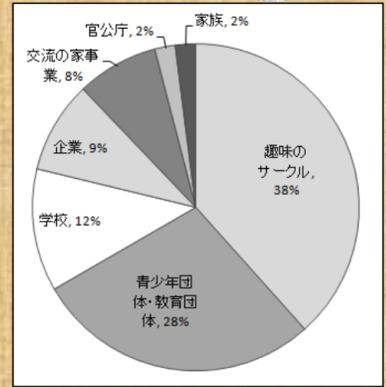


Q:PAの魅力と、その出会いは?
A:自分のスタイルを貫きながらも、参加者に強制することなく、学びを提供できること。少年院勤務時代に、指示と命令に忠実に従うことや上手な作文を書くことのできる生徒が高評価に繋がっていた現状に疑問を感じ「実感の伴う教育活動」が、自分自身のテーマになっていた。そんなところに出会ったのがPAですね。
(※PAとはプロジェクトアドベンチャーの略で、AAPの根底にある体験活動プログラムです)

利用のようす(1～2月)



- 1月の利用者数
…3,318人 36団体
- 2月の利用者数
…4,096人 50団体



★利用団体種類別の割合⇒

みなさんの声

利用にあたりよくある質問

Q1 暖かい季節になりますが近隣の花々は、いつ頃見ごろを迎えますか?
⇒その年によって異なりますが、所内のソメイヨシノは4月中旬頃、近隣のアカヤシオの丘(富士見総合グランド西)は4月下旬～5月上旬頃になる事が多いようです。

ここ赤城青少年交流の家では、今年は4月14日に「あかぎ南ろく桜フェスタ」の開催を予定しています。たくさんのイベントをご用意していますので、ぜひお越しください!

アンケートより

★館内がとても寒いのですが…
⇒節電のため低めの温度設定にしています。しかし、多くの利用者から「寒い」という声をいただき、現在は設定温度を少し上げました。
暖房の運転期間は「11/1～4/20」、運転時間は「11:30～13:30」と「15:00～翌朝9:00」、事務室での集中管理です。
とはいえ、十分な暖かさとは言えません。夕方は日が沈むと急に寒くなり、朝晩もやはり冷え込みます。羽織れる服や膝掛け等の持参もお願いしております。下半身が冷えない服装も重要かもしれません。ちなみに、今日の管理係長の服装(上半身)は、シャツ+タートルネックのセーター+セーター+フリースの4枚です…。外気温は現在4℃です。

Q:子どものころは、どんな子でしたか?
A:小さい頃から誰かに言われてやる事があまり好きではなくて…。教科書はもらった日に全部読んでしまい、授業はあまり聞かず、興味あることだけを調べて学んじやう。先生からしたら嫌な子ども。でも、「自分で行動し、気付いて、学ぶ」、体験学習を自然にやっていたのです。

Q:最後に一言
A:より多くの方がAAPを体験し、PAのスピリットのひとつである「フルバリューコントラクト(相互尊重)」の考え方が広まっていくといいなと願っています。「赤城で、一緒にAAPしよう!」

現在は、児童養護施設に勤務しながら、公立高校に訪問しキャリア教育を実践するなど多方面で活躍中です。最近、施設の子どもの通う小学校にお邪魔して、PAの手法を用いた特別授業を行ったそうです。(文：小野里)

